

出張報告書

下関市議会議長殿

令和7年8月25日

職氏名 議員 吉村 武志 議員 坂本 晴美 議員 秋月 美佐子 議員 宮野 直樹	用 務 先進地行政視察 (1)放課後児童健全育成事業の取組について (2)「レノファ学童クラブ」の概要について
期 間 令和7年8月18日(月)	出張先 山口県岩国市

別紙のとおり

レノファ学童クラブ視察 報告書

●目的

下関市における待機児童解消・多様な放課後児童クラブ運営の参考とするため、岩国市で民間企業（レノファ山口）が運営する学童クラブの取組を調査する。

スポーツクラブが運営に関わることで得られる教育的効果や地域連携の実態を把握し、今後の下関市でのモデル導入可能性を検討する。

●視察概要

日時：令和7年8月18日（月）10：00～14：30

会場：岩国市役所・レノファ学童クラブ

視察者：宮野直樹 吉村武志 坂本晴美 秋月美佐子

●岩国市の放課後児童クラブ運営状況（令和7年7月1日時点）

1 施設数

○市内小学校28校のうち27校区に設置

運営形態	施設数	教室数	運営主体
公設公営	13	16	岩国市
公設民営（委託）	15	30	株式会社2 NPO法人2 学校法人1
民設民営	2	3	NPO法人1 社会福祉法人1
計	30	49	

※令和8年度より委託を拡充予定（全体の8割が委託）

○設置場所

《公設》

設置場所	教室数	備考
小学校敷地内 専用教室	13	
小学校敷地外 専用教室	1	旧中学校跡地
校舎内 余裕教室	20	
校舎内 専用教室	4	校舎一体型施設
空き店舗・空き事務所	3	旧金融機関店舗ほか
児童館	4	
幼稚園・保育園施設	1	学校法人が所有する施設
計	46	

《民設》

設置場所	教室数	備考
空き家（民家）	1	
空き店舗	2	旧コンビニ店舗
計	3	

2 登録児童数（公設のみ）

学年	在学児童数	うち登録児童数	割合
1年生	761人	396人	52.0%
2年生	823人	404人	49.0%
3年生	817人	276人	33.8%
4年生	910人	163人	17.9%
5年生	905人	48人	5.3%
6年生	937人	35人	3.7%
計	5,153人	1,322人	25.7%

※在学児童数は、放課後児童教室を設置していない校区及び特別支援学級を除く。

3 岩国市放課後児童健全育成事業費補助金について

目 的：待機児童解消を図るため

対象事業：岩国市立の小学校に通う児童を主な対象としていること

待機児童が発生している又は発生する可能性がある小学校区の児童を受入れること

国の放課後児童健全育成事業実施要項に基づいて実施していること

公共性を損なわないこと（例：実態がスポーツクラブや塾になっている等）

対象経費：子ども・子育て支援交付金交付要綱に定める経費

予 算 額：54,607千円

4 レノファ学童クラブについて

【経緯・協議実績】

- 令和6年3月にNPO 法人レノファ山スポーツクラブ（以下、「レノファ山口」）が来庁。待機児童解消のため、委託運営による放課後児童クラブの運営を提案。

→岩国市では、既存の放課後児童教室の運営委託を進めているが、新たに公設する計画はなかったため、委託運営は難しい旨を回答。また、提案が特色ある内容だったことから、民設民営の方が馴染む旨を伝えた。

→レノファ山口より、民設民営の場合に運営経費に対する支援が可能であるか岩国市に確認あり。岩国市では、レノファ山口の提案以前から補助事業を検討中であったことから、具体性や継続性、事業効果を確認するため、レノファ山口に事業計画を示すよう伝えた。

- 令和6年5月、レノファ山口が岩国市に事業計画を提示。それを参考に、補助制度の事業化について政策的事業を判断する部署と検討。
- 補助制度の検討期間中も、レノファ山口とは不定期に連絡を行いながら事業計画を具体化する作業を進める。
 - ・開所場所（2カ所を提示していたが、候補地を現在の1カ所に絞る）
 - ・開所時期（令和7年4月開所を提示し、施設改修費の支援も想定していたが、岩国市は補助事業が成立したとしても令和7年度予算で対応する想定のため4月開所は断念）
 - ・資金計画（登録児童数の想定や、それに伴う保育料の設定）
- 令和7年1月、補助事業の予算化が内示。令和7年2月、令和7年度予算（案）の公表に伴いレノファ山口に伝達。
→レノファ山口は、放課後児童健全育成事業の開所届を提出するため準備。同時に、議会で令和7年度当初予算が承認されることを想定し、交付申請書類の準備を進める。
- 令和7年度当初予算の成立に伴い4月1日付で開所届、補助金交付申請書を岩国市に提出。岩国市は同日付で補助金交付決定。
- 交付決定通知書の受領以降、レノファ山口が施設改修や職員の採用、児童を募集する等の開所準備。7月1日開所に至る。

5 質問事項

Q. 待機児童数について、各年5月1日現在の推移と、レノファ学童クラブ開設後の直近の状況を教えてください。

A.

	R4	R5	R6	R7	直近
岩国市	52人	79人	36人	24人	8/1現在8人
下関市	132人	96人	217人	86人	8/1現在51人

Q. 岩国市における待機児童対策（人材確保、面積確保など）について、具体的な取組を教えてください。

A. 民間放課後児童クラブを除く対策としては、以下のとおり。

【人材確保】

- ・委託運営の拡充

【面積確保】

① 校舎内余裕教室の検討

実績：由西放課後児童教室（図書室）

神東放課後児童教室（ランチルーム）

② 小学校近隣の民間物件の検討

実績：岩国放課後児童教室（広島銀行旧西岩国支店）
愛宕放課後児童教室（空き事務所）
東第二放課後児童教室（岩国東幼稚園園舎の一部）

③ 小学校敷地内での施設整備

実績：東放課後児童教室

Q. レノファ山小学童クラブ開設にあたっての施設整備補助は、国要綱に従った算定基準で行ったもののなのか。単市上乗せ部分はあるのか。

A. 国の算定基準に基づいている。

（放課後児童クラブ設置促進事業 12,600千円／事業所）

Q. レノファ学童クラブの施設整備のスケジュールについて、交付金の申請手続きと合わせて教えてください。

A. 4月1日 補助金交付申請・交付決定通知

4月3日 施設改修の契約締結（契約書類確認済）

6月上旬 工事完了

《主な整備内容》

- ・内壁、床、天井の張替え
- ・トイレや手洗い設備の設置
- ・職員室、静養室の設置
- ・ランドセルロッカー等の備品設置

6 レノファ学童クラブ

《保育時間》

○通 常 日：放課後～午後7時まで

○学校休業日：午前7時30分～午後7時まで

（土曜日、学校行事の振替休日・長期休暇期間含む）

※午前7時30分～8時までは時間外保育

午後6時30分～7時までは延長保育

《月額利用料》（教材費・習い事代別途必要）

○午後6時30分まで：5,000円

○午後7時00分まで：6,000円

《レノファ山口サッカー教室》

対象：小学生男女

日時：平日2回16：00～17：00予定

※教室からワゴン車で移動。

※帰りはグラウンドへ迎えも可能。

場所：岩国市内の会場

月謝：無料（レノファ学童クラブ利用料に含む）

※別途年会費6,600円

※別途施設利用料月1,000円

その他：習い事準備中（英語教室、体育教室など）

7 質問事項

Q. 現時点の利用人数や学校数はどのような状況か。

A. 現在24名が利用（9校から通っている）

Q. 送迎はどのような状況か。

A. 現在の利用児童に対して5校を対象に送迎（片道約13分以内）車両はキャラバン・ノアの2台。

Q. 開設までの見学者の状況はどうだったか。

A. 問合せや見学は30名以上あったが既存の学童クラブを利用している方も多数いる。

Q. 学校との連携はどのような状況か。

A. 送迎時や必要時に情報共有を実施。アプリの共有もしており現時点で問題はない。

Q. 保護者との連絡手段はどのようにしているのか。

A. 主に公式LINEを活用している。

Q. 特色あるプログラムの状況は。

A. サッカー教室はあるがクラブチームとは切り離している。送迎と習い事を魅力に感じている保護者も多く、こども達には過ごし方を選択でき、自由な空間を提供している。

Q. 研修や人材確保・育成の状況は。

A. 学童クラブを開設するにあたり一般の求人により人材を確保したが今後は選手のセカンドキャリアの観点に着目している。提携をしている奈良の児童クラブで2週間研修を実施し行政から案内のあった研修も受講している。

Q. 今後のビジョンをどのように考えているのか。

A. こども達の体力低下など取り巻く環境に課題があるため、スポーツの特色がある学童クラブを通じて、喜びや自信を得られ、夢を抱けるきっかけとなる運営を目指したい。

6 考察

地域のスポーツクラブと連携し、柔軟で特色ある放課後児童クラブの運営は、待機児童の解消と子供たちの健全育成の両立に大きなヒントを与えてくれました。本市においても、依然として放課後児童クラブの待機児童が課題となっています。「子供を安心して預けられる環境を整えること」そして「多様な活動を通じて子供の成長を支えること」この両立を実現するため、先進事例を参考にしながら取組を加速してまいります。

報告者 宮野 直樹